

## 島田塚（しまだづか）

鏡山の西麓、標高約10mの砂丘上に位置する全長33.4mの前方後円墳である。後円部径17.4m、高さ4.5m、前方部幅16m、高さ4.5m。内部主体は、単室の横穴式石室で、古墳の主軸に直交するように後円部の中央に設けられ南に開口している。玄室の奥壁側に長さ2.4m、幅0.8mで6個の縄掛突起をもつ砂岩削り抜きの舟形石棺が置かれている。ただし蓋は欠失している。

明治43年に発掘され、昭和8年に再調査が行われている。出土遺物には、甲冑・武器類・馬具・方格規矩鏡・六獣鏡・金銅製冠・金銅製三輪玉・銅鏡・銅釧・勾玉・管玉等がある。6世紀前半の築造を推定される。

昭和47年3月29日 県史跡（古墳）指定  
唐津市鏡1728

分野 歴史

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



島田塚

（『佐賀県の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)